

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

腎機能障害を有する心不全患者に対する SGLT2 阻害薬の処方率の変化の検討

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 奥村 恭男

＜研究期間＞

機関の長の初回許可日 ～ 令和 12（西暦 2030）年 3 月 31 日

＜対象となる方＞

2021 年 4 月から 2027 年 3 月までに急性非代償性心不全と診断され、日本大学医学部附属板橋病院に入院のうえ、心不全治療を受けた患者様で腎機能障害を有していた患者様が対象となります。

＜研究の目的＞

本研究の目的は、腎機能障害を有する心不全患者において、心不全治療薬の一つである SGLT2 阻害薬（エンパグリフロジンまたはダパグリフロジンの処方率が近年どのように変化しているかを明らかにすることである。

＜研究の方法＞

上記の対象患者様の治療内容などの情報を電子カルテから取得し、SGLT2 の処方率が年度毎に異なっているか、退院後に心不全再入院、虚血性心疾患・脳血管疾患などの発生などの予後の検討、腎機能の推移、SGLT2 阻害薬が導入できなかった理由などを検討いたします。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

患者基本情報（年齢、性別、体重、血圧、脈拍、既往歴、内服状況など）、血液検査所見、心電図所見、心エコー図検査所見、胸部 X 線画像所見、入院中の治療内容（薬物療法、点滴治療、気管挿管・非侵襲的陽圧換気の使用の有無、ペースメーカー手術の有無、心臓カテーテル検査・経皮的冠動脈形成術の有無など）などを用います。

本研究で用いる情報は匿名化した後、解析に使用いたします。また、情報公開後に同意撤回がなされた場合、既に発表したデータの修正には応じません。

＜研究を実施する機関組織＞

日本大学医学部附属板橋病院循環器内科

＜お問い合わせ窓口＞

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 北野 大輔
TEL03-3972-8111（内線 2412）

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方